日本史探究	第5回　執権政治と蒙古襲来	

考えてみよう　：　鎌倉時代の政治の特徴はなんだろう

空欄を埋めましょう！(Fill in the blanks！)

§1　執権政治

(1)**執権政治**の開始

①**源頼朝**の死後

→　有力な御家人の合議による政治

※中心：源頼朝の妻**政子**と父**北条時政**

②北条氏は執権の地位を独占…幕府の実権を握った

※北条氏による政治を(1　　)とよぶ

▲北条政子

(2)**承久の乱**

①三代将軍**実朝**が暗殺された

→　政治の実権を朝廷に取り戻そうとした後鳥羽上皇が挙兵＝(2　　)(1221)

②朝廷は幕府の大軍に破れる

→　承久の乱のあと、鎌倉幕府の支配は全国に広がった

※(3　　)＝武士の慣習や道徳に基づいた法律　が作られた(1232)

§2　蒙古襲来(元寇)

(1)(4　　)(元寇)

①13世紀後半　モンゴル帝国

皇帝フビライ(フビライハン)は、国号を(5　　)と改めた

→　日本を服属させようと、何度も日本に使者を送った

日本：執権(6　　)はそれを無視！

→　元は、日本へ侵攻(invasion)

▲フビライハン

②(7　　)(1274)

元は支配下の高麗軍とともに壱岐・対馬に侵攻

→ 九州北部の博多湾に上陸

元軍の集団戦法や(8　　)などの武器に御家人たちは苦戦

→ 激しい戦いのすえに元軍を退ける

③(9　　)(1281)

博多湾に築かれた石塁と大量に動員された御家人の抵抗によって撃退

※『(10　　)』　※絵巻 : picture scroll

二度にわたる戦いの中での御家人の奮闘や、その後の恩賞を求めて獲得するまでの苦労を描いている

▲蒙古襲来絵詞（模本）（九州大学附属図書館所蔵）

(2)蒙古襲来後の幕府の動き

幕府は三度目の侵攻を警戒 …九州の警護を強化するなど西日本における支配力を強化

→恩賞をめぐって御家人の不満は高まる

書いてみよう ：　執権政治はどのように成立したかまとめてみよう